

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ステラ		公表日		2025年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・個室を作り、利用者の特性によってはそちらで過ごす事を薦め、配慮をしている	・スペースとしては十分だが、室内で運動を行う児童がいる場合の空間の使い方に改善課題有り	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		・送迎時や個別対応児童が多い場合は足りないと感じる為、改善が必要	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・見通しが良くなるように工夫している	・特性によっては個別での対応が必要な為、見通しとのバランスを考慮する必要がある ・危険認知の低い利用者からは椅子や机の面で危険な箇所が多く見られ、改善が必要	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・清潔にするように心がけている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個室を作り、利用者の特性によってはそちらで過ごす事を薦め、配慮をしている		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・個別支援計画を作り、都度確認をしている	・スタッフによって計画の理解度に多少の差がある為、より統一した支援を行えるようにしていく必要あり	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・現状の把握は出来ているが、どうしていくべきかをもっと検討する必要がある	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ミーティングや個人面談を実施して意見を把握するようにしている	・業務改善にまでは至っていない為、今後も機会を設けていく必要あり	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在は実施していないが、検討をしていきたい	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修の機会を確保できるように計画を立てている	・人員の関係で行える研修に偏りがある為、計画を見直していく必要がある	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援内容についてミーティングを取り、作成している	・支援プログラムとして公表を行い、幅広く周知する必要がある	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントやモニタリングを行い、ニーズの分析を行っている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ミーティングを行って、支援計画の内容を共通認識するようにしている	・スタッフによって計画の理解度に多少の差がある為、より統一した支援を行えるようにしていく必要あり	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ミーティングを行って、支援計画の内容を共通認識するようにしている	・スタッフによって計画の理解度に多少の差がある為、より統一した支援を行えるようにしていく必要あり	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		・アセスメント方法を改善していく必要あり	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・6年度の変更に伴い、より必要な支援を行えるように設定している	・より具体的な支援内容になるようにブラッシュアップしていく必要がある	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・日々のミーティングで立案している	・チームとして更に改善していく余地あり	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・日々のミーティングで立案している	・更に改善する余地あり	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子供の状況に応じた支援計画を作成している	・利用者の特性により、個別活動の方に強く偏っている為、集団活動を考慮する必要あり
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・日々のミーティングで立案している	・ミーティングの効率化を進める余地あり
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・当日送迎後や翌日のミーティングで話し合っている	・ミーティングの効率化を進める余地あり
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の記録を取れるようにしている	・記録を精査し、支援の改善に繋げられるようにしていく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が出席している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・担当者会議や送迎時の会話等で支援の共有を行っている	・より連携していく必要あり
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・担当者会議や送迎時の会話等で支援の共有を行っている	・より連携していく必要あり
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・担当者会議で情報共有を行っている	・機会があれば積極的に行っていききたい
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		・機会があれば積極的に行っていききたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・現在は無いが、今後取り組んでいきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や連絡帳で日々やり取りをしている	・計画更新時のモニタリングにより力を入れていきたい
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・現在は無いが、今後取り組んでいきたい
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に保護者に説明を行っている	・新規の利用者だけでなく、既存の保護者とも面談等で説明を行っていききたい
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者だけでなく、本人の意思の確認も行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・契約時、更新時に計画と合わせて説明を行うようにしている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談には都度応じるようにしている	・より適切な助言や支援が行えるようにしていきたい

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・現在はないが、今後意見や機会があれば取り組んでいきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・契約時に保護者に説明を行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月のお知らせを配布している	・色々な媒体を試したり、発信の仕方を検討していきたい
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・個々の特性にあった伝達方法を検討し配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・現在はないが、今後機会があれば取り組んでいきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		・策定は行っているが、周知の部分に改善の余地あり
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			・策定した内容を都度更新出来るようにしていきたい
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に情報を確認するようにしている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・契約時に情報を確認するようにしている	・現在はそのような利用者はいないが、今後受け入れがあった際は取り組んでいきたい
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			・策定した内容を都度更新出来るようにしていきたい
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		・策定は行っているが、周知の部分に改善の余地あり
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・当日送迎後や翌日のミーティングで検討している	・虐待防止、身体拘束適正委員会で活用できるようにしていきたい
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年1回以上実施している	・年2回以上実施出来るようにしていきたい
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・適正委員会で話し合い、契約時、計画更新時に説明を行っている	